

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	医療法人喬成会 グループホーム延齡草	評価実施年月日	平成21年4月1日～7月15日
評価実施構成員氏名	ホーム長 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 2級ヘルパー 2級ヘルパー ケアワーカー	中山 恵津子 秋保 孝子 浅野 由紀子 深澤 彰則 三好 美紀 根尾 佳子 伏木田 己佐枝 阿部 恵未子 吉田 悦子	
記録者氏名	ホーム長 中山 恵津子	記録年月日	平成21年7月15日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>認知症によって自立した生活が困難になった利用者様に対して家庭的な環境のもとで、食事・入浴・排泄等の日常生活の世話及び機能訓練を行う事により安心と尊厳のある生活を利用者がその有する能力に応じ可能な限り自立して営む事が出来るように支援する。</p>		<p>グループホーム運営理念を朝の申し送り時、日勤者交替で述べています。</p>
<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>理念は職員一人一人が述べる事が出来るよう朝の申し送り時、当番制で述べる。</p>		<p>ホーム内の壁に法人の理念グループホーム倫理綱領等、掲示致しています。</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。</p>	<p>玄関に提示 契約書、重要事項説明書に記載されています。入居契約時に家族に解りやすく説明しています。</p>		<p>面会者の友人又は家族以外の来訪時、質問を受け説明致しています。</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>町内会へ加入し地域住民の一員として動いています。</p>		<p>利用者様との散歩道、地域の方々への挨拶を交わし馴染みとなって居ります。</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内会行事に参加している。石狩市公民館主催の学園祭に友情出演する。(H20.12.1)</p>		<p>春季、秋季クリーン作戦へ入居者と共に参加しています。春の花壇の手入れを入居者と共に参加し交流を保っています。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>2か月に一回行われる運営推進会議の中で話し合いを行っています。</p>		<p>法人で開催される夏祭りの参加、諸行事へ協力を頂いている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>7 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>自己評価項目内容を会議の中で取り上げ確認を行う。</p>		<p>職員各自が利用する個々の尊厳を大切に対応する事を職員の意識改革へ繋げています。</p>
<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>8 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>運営推進会議2ヶ月毎のホーム内では行事等の説明を行っている委員の方より質問又ホームとしての捉え方等の質問を受けている。</p>		<p>質問等を議事録へ保管し改善へ繋げる事をさらなる向上へ努力しています。</p>
<p>○市町村との連携</p> <p>9 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>随時、情報の交流を図っています。</p>		<p>市役所主催の地域ケア会議へ参加し情報の交流へ努力しています。同時に ケアマネージャー会議に参加出来ない職員へ内容報告し学習会を行う。空室状況など市の包括支援センターへ空室の依頼をする。</p>
<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>10 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>市役所主催地域ケア会議内での研修等で学び職員へ伝達を行っている。法人研修に参加し個々に学んでいる。</p>		<p>現在、希望する対象者はいませんが、家族の高齢化などにより必要な事として家族会など活用できるよう備えている。</p>
<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>11 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>1999年法人として虐待制限廃止令宣言</p>		<p>周知している。ホーム内壁に掲示しています。</p>
4. 理念を実践するための体制			
<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>12 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>家族様の意向、利用者様の方向性の相談を受け対応しています。入居前の情報相談を受けています。</p>		<p>家族様より繰り返し相談受け対応に取り組んでいる。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様の声、家族様の声を真摯に受け止め、週一回の会議又苦情の出現時、都度カンファレンスを行い訂正是正への話し合いに取り組んでいる。		苦情等の出た時は業務会議上、今後の対策へ取り組んでいる。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	・面会の折にホーム内での生活の様子の経過を報告 ・電話連絡、家族様へ郵送報告		日々、密に報告しています。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見苦情を受けたときは法人へ報告する。法人内の対策処理を行っています。		家族様よりのアンケート用紙配布し、声に出せない意見を提出し頂いております。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	運営内容は法人規制の指示で運営されています。		疑問点等、法人へ相談し行動しています。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	配属された時点で各職員へ周知し勤務に就いています。		夜勤帯、身体の変化等への対応に職員増員し勤務に就いています。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	離職、異動については入居者様には伝える事無く、さり気無く交替しています。		家族様へは担当職員の交替を報告しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内研修参加、質の向上へ研修を重ねているスタッフ研修会(グループホームスタッフ研修会)		NPOグループホーム協議会員 年2~3回開催の研修会へ職員交替で参加へ取り組んでいます。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	市内、グループホーム協議会へ参加する。市内主催のスタッフ交流会。		グループホームの運営方針に沿い利用者様家族様の思いを受容し日々努力しています。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	日頃よりコミュニケーションの機会を多くし法人内親睦会、忘年会、職員同士、対話、交流の機会を設けている。		法人内の親睦会へ参加、職員間楽しめるよう開催されています。
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	自発的職員の意見を受け止め事業所に沿った働きかけへ取り組む。		自主研修積極的に参加しています。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	他事業所との入居事前の内容相談を受けています。		本人の言葉に出せない部分、家族より情報頂き、対応する事へ努力している。
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	相談依頼に於いては他事業所との連携を取りながら入居者希望の見学、家族様へ説明いたしています。		個人情報を守り対応しております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	依頼を受けた時点で相談員との調整に取り組んでいます。		いち早く連絡調整に対応しています。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	本人、家族様事前に見学されての入居となっています。		事前の見学を受けている。又、家族様来訪され納得されての入居となっています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	入居時担当職員を紹介する。 本人家族様が安心して頂けるようにと入居時の荷物等、家族が了解を得た場合、共に整理し生活のスタートとしています。		居室内の整理整頓、職員と共に行う。外出時の洋服選び等共に行い楽しまれるよう働きかけています。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	居室担当配置 日用品等の不足を連絡し家族の思いも傾聴できる職員対応へ日々話し合いを行う。		業務会議、接遇委員よりの報告等で職員教育を実施
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	家族へは生活の様子をこまめに報告する事で入居者様のADL状況に異変が、あった場合に於いても、理解を頂いている。入居時家族様へ生活の様子を経過報告し、家族様より安心の返答を受けています。		面会に来て頂けるように家族へ連絡し利用者様が安心して過ごせるよう支援へ取り組んでいます。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族様の協力を得ています。急変事の対応又心配など即協力医療へ連絡し指示うける。		家族交流、法事、祝い事、自宅へ気分転換と外泊等、家族様と共に行動いたしています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入居者様は自由に自身の生活スタイルを崩す事なく暮らしています。		・掃除を好む入居者と共に行う。 ・調理を好む入居者と共に行っています。 ・徘徊時、後方より見守り同行しています。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	適時に対応連絡を行う。		家族様へ迷惑にならない距離間をおき対応しています。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向、家族様の意向を受け利用者様の望む生活が送れるようにカンファレンスに同席を得、会議を行っています。		契約の時点で家族様の意向、本人の意向を受けています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居相談時より御本人、家族様、相談員と連絡調整を行い情報を共有化。		守秘義務、個人情報を守り行動しています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	個人のライフスタイルを大切に受け止めながら個人の行動を見守り配慮に徹底いたしています。		個々の希望に沿った過ごし方を捉え、支援へ対応しています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	個人にとっての課題を取り上げています。担当者会議、家族様同席のもと居室担当者等の意見出し合を行っています。介護支援専門員の意見のみを取り上げるのではなく全職員の声をまとめプランへ反映させています。		契約時入居に際しての本人の希望、家族様の意向を聞き入れています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	ケアカンファレンス、朝の申し送り等で入居者の状態の変化を把握しながら利用者様の症状の変化に応じた会議を行っている。又、利用者の身体の状況に於いては瞬時に対応しています。		身体の変化、行動の変化を察しミーティングを行い利用者様の生活が安全な家庭生活を営まれる様計画しています。
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の申し送りノートに記載する。 職員同士の情報意見を出し合い利用者様のニーズに取り組んでいます。		生活の様子を個別に日々、生活記録に記載しています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	利用者への状況、家族様への意向等を受け止め、他機関との連携に対応しています。		相談要望に瞬時に対応する。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	近隣の会社、町内会、事業所、協力を得ています。近隣の文化施設、保育園等、交流、協力得ています。		交番よりアドバイスを受け対応する。(利用者様の持ち物、洋服にホームの名称や名前を入れてくださいと指導を受ける。)
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	本人、家族様の希望に応じ対応しています。		希望を受け対応する。
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	法人連絡会議に参加し情報の共有化、相談を行う。		連絡調整を行っている。



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	契約時、訪問診察、内容を説明し本人、家族様が希望され診察を利用されています。法人、医療機関と契約を結び万全に入所者様の身体の経過、家族様への連絡密に行動しております。		週一回のバイタルサインチェック。都度体調に配慮し対応している。申し送りを受け訪問ドクターへ連絡を行っています。24時間体制整え入居者様の身体の観察に取り組んでいます。
44 ○認知症の専門医等の受診支援  専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	訪問診察、ドクター、看護師より日々アドバイスを受け指示に従い利用者様の支援しています。法人医療、看護研修を学び職員、学習会又カンファレンス等家族支援体制の場を設けている。		入居者様、訪問診察希望し受けている。家族様希望され精神科受診者、内科共に受診、家族様と連絡取り瞬時に対応しています。
45 ○看護職との協働  事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	訪問看護師への相談を密に報告し指示を受け対応している。		訪問診察24H体制整備されていますので急変の相談等へも連絡できるよう整えています。急変時の対応に心配見られた時即病院へ連絡し指示を受ける。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働  利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	有ります。法人内連携が取れています。		病院相談員と連携、調整とり瞬時に対応できる体制となっています。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	医療連携体制で整えています。		共有しています。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	医療連携体制で整えています。		家族様、看護師、Drの指示を受け利用者様にとって安全、安穏な医療体制を整えている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	希望に対応いたしています。		希望に対応しています。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	法人内研修を受け職員一人一人の意識改善のもと研修を実施。		守秘義務を守り行動しています。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	利用者様の視線に合わせ思いを傾聴し安心して暮らせるよう日々職員努力しています。		尊厳の心を奥底に持ち支援へつなげています。
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者様は自由に暮らしている。		入居利用者様の行動を否定せず受容し支援しています。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	モーニングケア(入居者が好みの色柄を選び着衣の手伝いを行う)		理美容、家族様の依頼を受けNPO理容を利用する。家族様と専属の理容へ外出する入居者。
54 ○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	毎日の献立表を入居者様が記載し食事の楽しみを持つきっかけ作りを行っています。		入居者様が出来る事を声かけし行っています。調理の準備(千切り、いもの皮むき、味付け等)配膳交互に行う。下膳各自行う。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	おやつ購入、入居者様と共にショッピングへ外出し好みの種類を個々に選び楽しんでいます。		タバコを吸う利用者様はいません。アルコールは、行事等に飲酒されています。本人が遠慮しない様に職員、カップ等グラスに茶を入れいただきますと一声を上げると共に飲んでる様子みられ雰囲気を作って支援しています。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	職員は排泄パターン把握しておりトイレへの声かけを行っています。		排泄チェックパターン記載(個別対応)を行っています。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	当日の体の症状又前日の様子を把握し入浴の声かけをしています。		職員共に湯舟に入ります。馴染みの職員、他スタッフも同様に対応出来る様になった。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	日中の活動により安眠できるように個々の活動へ取り組んでいます。		食事準備を好む入居者。 散歩、レクリエーションを楽しまれる入居者。 外出、ドライブ、ショッピングへ出かけ心地良い疲れのもと良眠されています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	個々人の行動を阻止せず受け止め入居者様は自由に時間を使い暮らしています。		玄関下駄箱より靴を履き静かに出て行く姿を後方より見守りする。 日々受け止め阻止しない介護に徹底 朝、新聞を取りに行く(見守る) 毎朝新聞をゆっくり読む・
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	入居者様の希望を重視した範囲の中で要望に答え本人の満足いくように支援しています。		小銭を持ち電話をかける入居者、管理は家族了解の上まかせております。 職員と共に 酒 おやつ ハガキ等購入へ出かけます・

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	個々の身体の様子を見ながら外出への声かけを行っています。		天気の良い日は散歩、ドライブ外出、ファミリーレストランでおやつを食べコーヒータム(イトーヨーカドー、百合が原、近隣の喫茶店)
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	遠足等は家族の同意を頂き外出いたしております。		家族様と温泉へ出かける入居者様。家族様の協力を得ながら一泊旅行計画を取り組みたいと思っております。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人の希望を受けています。		自ら自宅へダイヤルを「回す」行動を見守りです。市外よりの取次ぎも行っています。手紙、ハガキ、自由に行動し見守り致します。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面会 午前8:00～午後20:00 自由に受けております。		事前に連絡が来る場合に於いては体調の様子を伝えております。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	日々取り組み拘束致していません。		「抑制廃止」について 1999. 7. 1宣言(法人宣言)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	自動開閉となっています。		周知し、見守りに重視しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	見守り重視する職員訓練徹底しています。		職員お互いに声かけあい常に行動周知している。その事により見守りが手薄になっても全スタッフ目配りが出来ます。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	物品庫に一括管理しています。		台所用品(包丁、洗剤等)危険な品については鍵をかけ管理しています。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	事故防止マニュアルに沿い研修を重ねています。		日々申し送り、ケア会議、学習会を開き学んでいます。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	マニュアルに沿って行っています。		身体状況の悪化している入居者様の個別マニュアル(看護師)と話し合いマニュアルにそって行動しています。瞬時の対応には利用者の慎重重視の対応を取っています。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年2回避難訓練の実施。2回中1回は 市消防署の指導を受け実施		防災会社の年2回の定期システム実施、防災地区より点検に入りアドバイスを受ける。非常口の確保を日々注意して居ります。法人より防災会社年2回点検に入っています。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	個別対応いたしています。		身体の状態に応じた対応を重ねています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	日々個々の身体の経過の申し送りを行う。看護師へ報告、指示に従い対応する。		職員互いに声かけあいケアする事により早期発見につながり対応いたしています。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方袋用紙の周知 診察時Drに指示を受け記載申し送りをする。		Dr看護師の指示申し送りノートに記載し送る。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	個人に合わせた盛り付け量に工夫しています。食材の硬さ、大きさ等個別に対応しています。		飲水量、薬の副作用の症状を捉えDrへの連絡対応しています。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後に口腔ケア介助行う。		訪問歯科利用者(歯石治療)家族様同行し歯科(歯石治療)受診。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	管理栄養士の献立計算に基づいて調理を行っています。		個別対応(主食、かゆ)。嚥下症状がみられる利用者様へ細かく食べやすい様に切り、調理する。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等)	院内感染マニュアルに基づき研修しています。		手洗い、うがい、消毒、清掃に心がけ徹底いたしています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	衛生感染マニュアルに基づき管理に取り組んでいます。		食材を毎日、業者より配達されています。不足分については入居者様とスーパーへ買物に外出購入。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	環境の整備、整地されている外壁の色看板で認識しやすい建物となっています。		町内の方々とも、あいさつかわし訪問を受けています。平成18年より通所介護開設いたしてます。見学等、地域の方々等説明、見学 増加しています。
81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	全室フラット段差なしのバリアフリーとなっています。		リビングルームで寛いでいる利用者、食堂席を利用している光景が見られています。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	全て一般家庭用の家具又は調度品を使用しています。		長椅子を設置、TVを置き寛げるリビングとして使用しています。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人と家族との話し合いの中で居室内の整理をする。		好みの寝具類、好みのタンス等を置き過ごしています。写真 仏具等 居室内ご安置。
84	○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	建物全室換気設備整えています。ホール、居室に換温度設置し適時換気を行っています。		個別に窓を開け空気の入替えをする。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	全建物造りがフラットスタイルとなっています。	フラットスタイル作ってあるが、利用者様への声かけを予防として支援しています。
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	個々の生活を活かしプランをたて「自分らしく暮らす」為に日々変動に創意工夫愛情をもって対応しています。	プランに沿って対応する事により、統一したケアへ支援いたしています。
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	入居者様の好みを把握し対応しています。	外への散歩、レクリエーション、庭の手入れ、庭の散水、外へ洗濯干し等、共に行う。 毎年8月ベランダでバーベキューを行っている。 家庭菜園で作物を育て収穫し調理する。



V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない</p> <p>ニーズに沿い個々のプランを立てています。 外出外泊後、入居者様「ああ帰ってきた」と笑顔。</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない</p> <p>毎食事、語らいながらの食事の時間</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>各人が生活のペースを崩す事無く経過致しています。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>外出時の笑顔と表情。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>家族の協力も得て行動致してます。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>毎日、看護師がする身体観察、申し送りで日々の行動観察。</p>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>季節、天候の変化に応じ対応しています。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない</p> <p>キーパーソンへの連絡調整こまめに報告している為、家族様の情報密に信頼されていると思っております。</p>

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>①ほぼ毎日のように</p> <p>②数日に1回程度</p> <p>③たまに</p> <p>④ほとんどない</p>	通所介護開始により来客者多いです。
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<p>①大いに増えている</p> <p>②少しずつ増えている</p> <p>③あまり増えていない</p> <p>④全くいない</p>	家族の声、地域住民の声。
98	職員は、生き生きと働けている	<p>①ほぼ全ての職員が</p> <p>②職員の2/3くらいが</p> <p>③職員の1/3くらいが</p> <p>④ほとんどいない</p>	頑張っていると確信できます。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<p>①ほぼ全ての利用者が</p> <p>②利用者の2/3くらいが</p> <p>③利用者の1/3くらいが</p> <p>④ほとんどいない</p>	満足していると私は思われます。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<p>①ほぼ全ての家族等が</p> <p>②家族等の2/3くらいが</p> <p>③家族等の1/3くらいが</p> <p>④ほとんどいない</p>	満足していると思います。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

- 1 接遇への取り組み「法人接遇委員により、日々取り組んでいます。」
- 2 当事業所内・研修会「認知症に関する勉強・業務会議等を行う。
- 3 利用者様への尊厳を大切にし職員資質への意識改善。
- 4 定期の血圧測定。
- 5 水分煮沸後、冷蔵庫へ保管飲水に使用。  
(1日の水分摂取量 1,000CC以上)
- 6 調理だし(こぶ、かつお節使用)。
- 7 おやつ手作り。
- 8 汚染物は貯めず処分する。
- 9 体重測定(月一回)。
- 10 利用者様の生活・身体経過を看護師へ報告し、指示を受け瞬時に対応する。  
看護師のアドバイスを受け、都度スタッフへ申し送り又疑問点等については、質問し周知する。
- 11 入居者様の筋力低下防止対策として毎日、音楽に合わせ歩行訓練を行っております。